



撮影者:中村 人士 (中村写真事務所)

Barms Newsletter

引き出しを作っておく

大学時代の組織論のゼミで、「ミッドウェイ海戦」に関するレポートをまとめたことを覚えています。何となく自分なりによくまとめられて、「A（最上位）」の評価をもらったと記憶しています。

でもこのレポートの内容、私の頭の中で逐一再現することはできません。「ぼわっ〜」と覚えているだけ。

つまり、このレポートは、私の引き出しに収められていないのです。引き出しに収めるためには、収まりのよい形というものがあるはずで。

私の場合、それは絵です。そして、最高の場合には絵がつかなくて、つまり、映像として収められています。今回は、大切なものを引き出しに収める方法に関する話です。

バームスコーポレーション 杉山 明



株価が下がった

とき、普通の人であれば、どうして株価が下がったのだろうと考えます。きっと、株価は理由なく下がったのではないでしょう。

たとえば、「実は、今までとても評価が高い株式だったけど、最近になって評価が下がってきた」とか、「会社の経営の要であった優秀な創業者が退任して、投資家が少し不安を感じている」といった理由を思い浮かべるかもしれません。

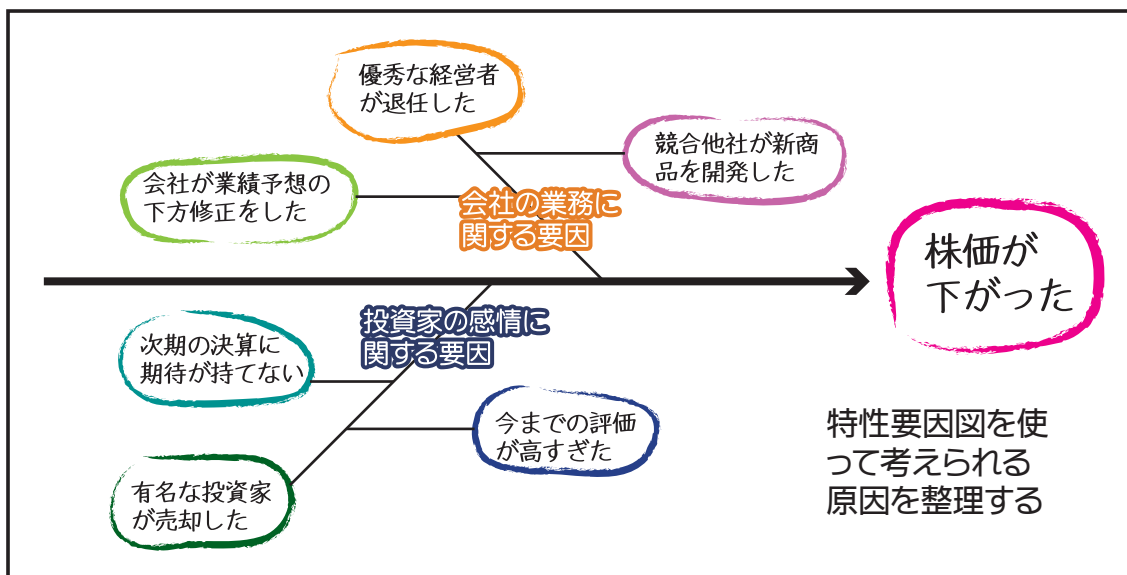
思いついた理由は、とても大切なものです。そして、思いついたことを、メモ書きでよいのでどこかに書き留めておきましょう。

株価が上がったときあれこれ考える人は少ないでしょうから、やはり、適しているのは株価が下がったときです。

わたしたちは、成功から学習するより、失敗から学習するほうが、よい教訓を得ることができるのです。

メモを整理する

書き留めたものがいくつか集まれば、それをグループ分けしてみます。同じようなことを



特性要因図を使って考えられる原因を整理する

たびたび考えていたのであれば、それは、あなたにとって貴重な情報になります。考え方の癖のようなものになるからです。

そうして、いくつかのグループが構成されると、株価が下がったこと（結果）に対する、原因が関係付けられます。

上図のような図を作成すると原因と結果をきれいにまとめることができます。

このような仕組みの図を、特性要因図といいます。魚の骨に似ていることから、魚の骨図ともいいます。

文字<絵

絵を描くことは、わたしたちの考え方を確認するための有効な手段です。

最初に、メモを書くことによりイメージが膨らみます。そして、それを並べてみるとイメージが鮮明になります。そして、そのイメージを図に書き表すことで、イメージを再現できるようになります。

こうして蓄積されたイメージが、私たちの“ものごとを考える力”を形作るものなのだ

思います。

大切なことは、

▶ **イメージを膨らませる手段を持っていること**

と

▶ **イメージを考え方にまとめる手段を持っていること**

そして、

▶ **整理された考え方をいつでも引き出せること**

です。

バームスコーポレーションのメルマガ
1ランク上の生命保険と資産運用の話
わかりやすい生命保険と投資信託のまじめな話

【お願い】

このニュースレター(以下、本書面といいます。)は、バームスコーポレーション有限公司(以下、当社といいます。)から、機関または企業のご担当者様に情報提供することを目的としたものです。したがって、本書面記載の内容の全部または一部を、一般の方に提供される場合には、あらかじめ当社の承諾を得るようお願いいたします。

本書面は、保険契約の勧誘または有価証券の取得の勧誘を目的としたものではありません。また、本書面に記載する内容は、当社が信頼できると思われる情報に基づき作成されていますが、その内容の正確性・完全性・網羅性を保証するものではありません。さらに、本書面記載の内容は、特定の経済状態、市場状態を示唆するものではありません。